

2016年2月5日(金)付 山形新聞に掲載！！

一挙両得 ハイクと俳句

5月開催 最上川や羽黒巡る

最上川・陸羽西線活性化委員会(高橋茂会長)は5月14日、舟下りや俳句作り、ハイキングを楽しむイベント「最上川・芭蕉しろうとハイク国際選手権(春)」を戸沢村などで開く。松尾芭蕉をはじめ多くの俳人が詠んだ最上川を満喫してもらおう。10日から参加者の募集を開始する。

同委員会は最上川とJR陸羽西線を活用して観光振興に取り組もうと、NPO法人元気・まちネット(東京都、矢口正武代表理事=戸沢村出身)や庄内町、戸沢村の有志計15人が集まり、昨年5月に発足。フィー

ルドワークや会合を通じ観光資源を探ってきた。

芭蕉や正岡子規らは最上川を俳句の題材に選んでおり、芭蕉が最上川を下って上陸した現在の庄内町には羽黒古道があることから、俳句とハイキングを一挙に楽しめるイベントを企画した。同委員会は春だけでなく、季節ごとの開催も目指しているという。

当日は新庄市本合海の「芭蕉乗船の地」などを見学し、戸沢村で舟下りを体験。その後、庄内町に移動して羽黒古道(約3km)のトレッキングを楽しむ。参加者は旅の行程で俳句を1人2句作って最後に北月山荘(庄内町)で披露し、参加者同志で投票して優秀句を選ぶ。参加費は一



春の最上川舟下りの様子。イベントでは舟下りやハイキングを楽しみながら俳句を詠む

般3500円。中学生以下3000円。定員40人。年齢制限はないが、俳句を詠めることが条件。募集期間は10日～3月31日で、定員になり次第締め切る。問い合わせは矢口代表理事090(5494)8699。